

今日は、始めまして。私はコロラド州立大学のロバート・ミッチェルです。21歳の大学三年生です。日本語はまだ二年しか勉強していませんけれども、子供の時から言葉を勉強しています。アメリカに住んでいるので外国語を習うことがあまりできませんでした。それで、子供の時から言葉を習っていると、外国語のことではありません。「心の言葉」の意味です。全てに独特の言葉があります。

父は音楽の言葉を教えてくれました。父は30年間もラジオきよくで働いていますから、よく無料のコンサートの切符をもらいます。切符をもらうといつも私を連れて行ってくれました。ロックやジャズやフォーク・ソングのコンサートでした。それで、音楽が大好きになりました。とくにロックやフォーク・ソングが大好きです。ビートルズやポリスやエルトン・ジョンやジェームズ・テイラーは友達のように思いました。父の自動車に乗っていつもラジオを聞いていたのでその人たちの音楽が頭の食べ物になりました。カー・ステレオでビートルズを聞きながら「メンバーのだれが歌っているか」というゲームをよくしました。私はそのゲームがとくいでした。ジョン・レノンの曲を聞いたので平和の言葉の使い方を習いました。

母は演劇の言葉を教えてくれました。母は小さいときから演劇や映画が大好きだったので、私と妹を毎週一回は映画へ、毎月一回は劇を見に劇場へ行ってくれました。また母はよく教会の劇を指導しましたから、私と妹は子供のときから演劇をしました。それで演劇をすることは私の趣味になりました。高校をそ

つぎょうした後で、演劇を勉強するために大学に入ろうと思いました。はいゆうになりたかったです。演劇をすることによって、感情かんじょうの言葉も習いました。

大学で始めはせんこうは演劇でした。大学に入ってから外国の演劇を勉強したり、りょうのルームメートと外国の映画やテレビばんぐみを見たりしたので、もっと外国の文化や言葉のことが知りたくなりました。すぐに旅行をすることばかりかんがえていました。旅行をするために、色々な外国語を習わなければならないと思いました。それで1年演劇を勉強した後でせんこうを国際学こくさいがくに変えることにしました。外国語の歌詞かしや芝居しばいの言葉が分からなくても、音楽や、演劇の動きで言いたいことがわかります。でも言葉が分かった方がいいと思いました。それで、日本語を勉強することにしました。

子供たちは大人たちから言葉をならうことが上手です。毎日アメリカでスペイン語しか話せない人が多くなっているために若い学生わかにスペイン語を教えなければならないと思います。ヨーロッパでもアジアでも国が多いし、となりの国は近いし、色々なちがう言葉を話すので、いくつか外国語を習うことは大切だと思います。アメリカには英語しか話せないアメリカ人が82%もいます。もう一度アメリカが強くなりたかったら、学校でもっと外国語を教えるべきだと思います。だれかが「好きなことだけしてもいい」と言ったら、私は外国語ばかり勉強きょうしつしたいです。教室おもしろに面白い文が英語で書いてありました。「The limits of my language are the limits of my world」と書いてありました。日本語で、その文の意味は「私の言葉の限界げんかいは世界の限界です。」外国語とか美術びじゅつとかを勉強するともっと世界や人間をりかひできると思います。

ごせいちょうありがとうございました。